

# ICPV group report

Yosuke Yusa  
Niigata University

# 来年度の体制

- 新潟大学 Belleデータの解析 ( $B^0 \rightarrow \pi^0 \pi^0 K^0_S$ ) が間もなく box open publication process と並行して Belle II データ解析の準備を始める  
今のところ学生の目処はなし
- IPMU SVDラダー量産が延びて4月末に終了の予定でデータ解析はその後になる  
phase 2の終了前後で樋口さん+ポスドク4名  
(うち1名はチャームバリオンの解析をする予定、他は未定)
- KEK、東大(後田研)、奈良女大は体制については未回答  
(特に変更なし?)

# 今後の戦略

Phase 2ではVTXが一部しかないので本格的な解析は難しい

以前議論があったようにJapanグループとしてはresolution function  
関連のstudyをしたい

それ以前にvertexingおよびtrackingの現状を把握する必要がある  
(そもそもうまくいっているのか、必要な情報が準備されているか)  
→ 解析ソフトウェアの開発 (というか勉強) に併せて確認、  
もしなければBelle II全体にfeedbackし、Japanグループとしての  
存在感を示す

それらの次のステップの目標設定、解析対象の設定には戦略が必要  
(control sampleモード、resolution functionモデリング etc.)